

| | | | | |
|------|-----------|--------|----|-----|
| 科目名 | フィールドスタディ | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 実習 | 選択 | 1 | 4年 | 前期 |
| 担当者名 | 木元 卓也 | 関連する資格 | | |

授業概要
 フィールドスタディ に引き続き、地域においてボランティアを実践することで、地域におけるボランティアの意義と実情について体験的に学び、現代社会におけるボランタリーセクターの重要性について理解することを目的とする。継続的にボランティア活動に参加し、演習を通してボランティアの意義について検討を行う。

| | |
|---|----------------------------|
| 到達目標 (A4401) <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアについての正確な理解 ・ ボランタリーセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚 ・ ボランティア活動への参加 ・ ボランティア活動を通して得られた知見を表現する ・ 地域で必要なボランティア活動を自ら創造し調査を行う | 成績評価方法 ボランティア活動報告を教員に行う |
|---|----------------------------|

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | |
| 授業態度・授業参加度 | | | ○ | | ○ | | 20 |
| プレゼンテーション | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 20 |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | |
| 実習 | | ○ | ○ | | ○ | | 60 |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習） | | アクティブラーニング |
|---|-----------|------------|
| 1)～3) オリエンテーション及びボランティア先の決定 | | フィールドワーク |
| 4)～14) 各ボランティア先での活動 | | |
| 15) ボランティア活動報告及びまとめ | | |
| 授業外学習 | | |
| ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど） | | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 | |
| 特になし。必要に応じて適宜紹介。 | フィールドスタディ | |

課題に対するフィードバック

備考

| | | | | |
|------|----------|--------|----|-----|
| 科目名 | キャリアデザイン | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 演習 | 必修 | 1 | 4年 | 前期 |
| 担当者名 | 榎本 俊哉 | 関連する資格 | | |

授業概要

「キャリアデザイン ~ 」の総仕上げとして、自身の目指す進路に進めるように努める。

民間企業における人事部門で、採用活動や教育に携わった勤務経験を有する教員が、社会人として必要な知識・スキルについて講義をする。

到達目標

(A4801)

- 希望の進路を決定し、主体的に取り組むことができる
- 社会人で必要とされる力を身に付けることができる
- 労働法の基本を学ぶことを通して、働く制度を知る。

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加、小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | 評価割合 (%) |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | ○ | ○ | ○ | | 20 |
| 宿題、授業外レポート | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 40 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | | | |
| プレゼンテーション | | | ○ | ○ | ○ | | 15 |
| グループワーク | ○ | ○ | ○ | | ○ | | 25 |
| 演習 | | | | | | | |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|---|--|
| 1) オリエンテーション 【予習】「キャリアデザイン ～ 」で学んだことを振り返る（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート |
| 2) キャリアデザイン 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 3) コミュニケーションを学ぶ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 4) 労働法 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 5) 労働法 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 6) 労働法 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 7) ワールドカフェ 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 8) お金の話 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 9) 社会人としてのマナー 社会人として通用するマナーを習得する 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 10) 社会人としてのマナー 社会人として通用するマナーを習得する 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 11) 社会人基礎力 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 12) 社会人基礎力 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート グループワーク |
| 13) 社会人講話 各分野で活躍されている社会人の方の講演 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート |
| 14) キャリアデザイン 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート |
| 15) 総括 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分） | 小レポート |
| 授業外学習 | |
| <p>毎授業後、作成するレポートを通して、自己の思いに向き合い、自身の課題を明確にする。 実践的な課題を提示するので、各自取り組み報告する。</p> | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| <p>適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。</p> | <p>キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリアデザイン、キャリア形成実践演習、インターンシップ、インターンシップ</p> |

課題に対するフィードバック

小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。

備考

Googleクラスルームを活用する

| | | | | |
|------|----------|--------|--------------------|-----|
| 科目名 | 司法・犯罪心理学 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 講義 | 選択 | 2 | 4年 | 前期 |
| 担当者名 | 小野 洋平 | 関連する資格 | 公認心理師受験資格 認定心理士 | |

授業概要

本講義の目的は、犯罪という複雑な社会的現象を、個人の内的特性、発達過程、および環境との相互作用という心理学的視点から多角的に理解することである。講義の前半では、犯罪心理学の歴史の変遷を確認した上で、「人はなぜ罪を犯すのか」という問いに対し、生物学的・行動遺伝学的要因（脳機能や遺伝）、社会学習理論（モデリングと強化）、および合理的選択理論（コストと利益の計算）といった主要な理論的枠組みを体系的に学ぶ。講義の中盤から後半にかけて、発達の視点を取り入れ、犯罪行動が青年期に集中するメカニズムや、幼少期のトラウマ・愛着形成が将来の暴力性に及ぼす影響を検討する。さらに、対人暴力の極致である殺人と、その背景にあるパーソナリティ障害（特にサイコパス）の精神病理について、エビデンスに基づいた最新の知見を詳説する。単なる「勸善懲悪」の感情的判断を排し、科学的なエビデンスに基づいて犯罪現象を分析する専門的な眼差しを養うことが求められる。また、公認心理師として司法・矯正現場で活躍するための基礎知識として、刑事司法制度の概要についても理解を深める。

この講義は心理学部DP1、4および公認心理師コアカリキュラムD-4-1、B-2-4、B-2-3と関連し、犯罪被害者支援員の資格、犯罪被害者支援対策調査委員の経験を有する教員が担当する。

到達目標

A4601ab

- ・犯罪心理学における主要な理論を定義し、具体的な事例に当てはめて説明できる。
- ・生理的・遺伝的要因などの知見と、環境的要因がどのように相互作用して反社会的行動を誘発するかを、科学的根拠に基づいて論述できる。
- ・サイコパス、反社会性パーソナリティ障害（ASPD）、ソシオパスの概念的な差異を整理し、それぞれの心理的・行動的特徴を指摘できる。
- ・幼少期の虐待、愛着障害、動物虐待といった発達のリスク要因が、将来の対人暴力へとエスカレートするメカニズムを解説できる。
- ・殺人の心理的類型（感情的殺人・道具的殺人）や性犯罪者の認知の歪みについて理解し、適切なアセスメントの視点を持てるようになる。

成績評価方法

下記の評価項目、評価基準の評価割合に基づき、100点満点で評価する。

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | ○ | | | | 50 |
| 小テスト、授業内レポート | | | ○ | | | | 20 |
| 宿題、授業外レポート | ○ | ○ | ○ | | | | 10 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | | | 20 |
| プレゼンテーション | | | | | | | |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|--|--|
| 1) 犯罪心理学概論：学問の定義と法的枠組みの基礎 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 2) 生物学的要因：遺伝と脳機能による反社会的行動の解明 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 3) 学習と認知理論：モデリングと意思決定の心理学的考察 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 4) 発達と犯罪：年齢による行動変容と生涯にわたる推移 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 5) 環境的リスク：幼少期の経験と暴力性の萌芽に関する分析 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 6) 行動のエスカレーション：初期兆候と重大犯罪の連続性の解明 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 7) パーソナリティ障害：サイコパシー等の人格特性と犯罪性 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 8) 対人暴力の心理：殺人の動機形成と行動特性の多角的理解 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 9) 対人暴力の心理：殺人の動機形成と行動特性の多角的理解 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 10) サイバー犯罪 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 11) 捜査支援の技術：科学的証拠と供述分析による実務的貢献 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 12) 対人聴取の心理：記憶の正確性と有効なコミュニケーション 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 13) 司法アセスメント：責任能力と精神医学的評価の重要性 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 14) 矯正と社会復帰：再犯防止プログラムと更生モデルの展開 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 15) 被害者支援と予防：心理的回復と修復的司法による社会貢献 【予習】事前に提示する予習課題を実施する（60分） 【復習】授業ノート・資料を整理し自己学習する（60分） | 小テスト・リアクションペーパー・PBL・体験学習 |
| 授業外学習 | |
| <p>司法・犯罪場面に関わる法律に関する学びを深める。 事後学習案を提示するので、各自興味関心に合わせたテーマを選択し、調査・分析する。 適宜アナウンスする課題を実施する。</p> | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| <p>【テキスト】 レジメを配布する。 【参考書】 わかりやすい犯罪心理学 文化書房博文社 犯罪心理学への招待 サイエンス社 公認心理師の基礎と実践 司法・犯罪心理学 遠見書房</p> | <p>神経・生理心理学、感情・人格心理学、発達心理学、臨床心理学、心理検査法</p> |

課題に対するフィードバック

実施時に適宜フィードバックを行う。

備考

質問があれば講義後またはオフィスアワーを利用すること。
単位認定については大学の規定に準ずる。各自キャンパスガイドを確認の上単位登録・受講すること。
授業資料や課題はClassroomを用いて公開・実施するため、インターネットにアクセスできる機器を持参すること。
本授業では授業開始冒頭に氏名読み上げによる出席確認を毎回行う。遅刻者は授業後に教員に申し出ること。また、遅刻や途中退室が多い場合は、単位認定の対象とならないことがある。やむを得ない理由による欠席の場合は、事前または事後速やかに連絡すること。なお、その際に医療機関等の公的な証明書の提出を求める場合がある。

レポート・課題は原則ClassroomまたはGoogle Form等のe-learningシステムに提出すること。
指示された期提期限までに提出し、それ以降の提出は減点または不受理の対象となる。
授業中のIT端末については、授業活動に必要な場合を除き禁止とし、私的な閲覧やSNSの利用は控えること。
また授業の録音・録画・スクリーンショットの取得は、教員が許可した場合を除き禁止する。
出欠や試験・課題等での不正が発覚した場合には、単位認定しない。
合理的配慮が必要な者は各自手続きを進めること。

第1回はオリエンテーションを兼ねている。オリエンテーションおよびシラバスを理解し、受講ルールを了承の上登録、受講すること。

| | | | | |
|------|----------|--------|--------------------|-----|
| 科目名 | 産業・組織心理学 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 講義 | 選択 | 2 | 4年 | 前期 |
| 担当者名 | 西村 秀明 | 関連する資格 | 公認心理師受験資格 認定心理士 | |

授業概要

産業・組織心理学は、事業所における組織経営や産業活動の効率化や、人々が快適で健康に働くためにはどうすればよいかについての心理学領域である。そこでこの授業では、組織における人の行動や職場における問題（キャリア形成に関することを含む）に対して必要な心理に関する支援について、これまでの心理学研究の成果をふまえて考え、卒業後の社会活動において活用できる「心理学リテラシー」の獲得を目標とする。

到達目標

A4701ab

- * 組織における人の行動について説明できる。
- * 職場における問題（キャリア形成に関することを含む）に対して必要な心理に関する支援について考えることができる。
- * 職場における問題（労働者の健康や安全安心など）に心理学の知見を活用することができる。

成績評価方法

定期試験50%、発表内容30%、受講態度・演習20%で評価する。ただし、欠席が所定回数を超えた場合、および発表をしていない場合には、評価の対象とはならない。

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | 50 |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | 20 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | | | 10 |
| プレゼンテーション | | | | | | | 10 |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | 10 |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|--|-------------------------------------|
| 1) 産業・組織心理学について 【予習】産業界他、どのような組織構造があり、そのメリット・デメリットについて調べておくこと（60分）【復習】様々な組織における現代の問題点を整理すること（30分） | |
| 2) 組織の形態とコミュニケーションについて 【予習】組織の形態とコミュニケーションの相異について調べておくこと（45分）【復習】組織に留まらず、状況に合わせたコミュニケーションについて整理すること（30分） | |
| 3) 組織におけるリーダーシップについて 【予習】リーダーシップ理論について従来の研究を調べておくこと（60分）【復習】リーダーシップにおけるPM理論に自分を当てはめて自己理解を進める（30分） | |
| 4) 演習1 組織におけるトラブルと構成員の役割 【予習】うつ病について調べておくこと（30分）【復習】自分がリーダーであったとすると、どのような対応をとったか再度検討してみる（30分） | 演習 グループワーク |
| 5) 産業・組織分野における心理支援の実際（メンタルヘルス） 【予習】心身医学会が提示しているストレス疾患について周知しておくこと（60分）【復習】企業におけるストレスチェックの重要性について整理すること（60分） | |
| 6) 従業員支援プログラム、及び復職支援・リワークプログラムにおける心理支援 【予習】復職支援の方法・在り方について調べておくこと（60分）【復習】復職支援について、支援を受ける者の心理過程について整理しておくこと（60分） | |
| 7) 演習2 復職支援について～事例を通じた心理学的検証 【予習】再度、復職支援の方法・在り方について確認しておくこと（30分）【復習】再度、復職支援を受ける者の心理過程について整理すること（30分） | 演習 グループワーク |
| 8) 職場でのハラスメントとその対応について（ ） 【予習】ハラスメントの定義について周知しておくこと（30分）【復習】ハラスメントを侵す者、ハラスメントを受ける者、双方の心理状態について整理すること（45分） | |
| 9) 演習3 ハラスメント委員会の対応の在り方（ ） 【予習】ハラスメント委員会の義務についての確認（30分）【復習】ハラスメント委員会が機能化するために必要な事項についての整理（30分） | 演習 グループワーク |
| 10) 職場でのハラスメントとその対応について（ ）～厚労省指針 【予習】ハラスメントにおける厚労省の指針について周知しておくこと（30分）【復習】ハラスメント当事者のプライバシー保護について整理すること（30分） | |
| 11) 演習4 ハラスメント委員会の対応の在り方（ ） 【予習】ハラスメント委員会の構成について調べておくこと（30分）【復習】機能している委員会と機能不全を起こしている委員会との違いについて整理すること（45分） | 演習 グループワーク |
| 12) 演習5 「育児休業」取得後の行動心理とコンサルテーション 【予習】育児休業の本質的意味を確認しておくこと（60分） 【復習】育児休業取得者が育児を放棄しているケースに係るコンサルテーションの在り方を整理すること（60分） | 演習 グループワーク |
| 13) 一般の間で認識されているハラスメントの種類とその心理対応について 【予習】一般化しているハラスメントの種類について調べておくこと（45分） 【復習】ハラスメントと心理的ダメージ、及びサポートについて整理すること（45分） | |
| 14) 演習6 過重労働のなかで起きた事故と組織としての在り方の心理学的検討 【予習】組織の在り方、構成員の役割・コミュニケーションなど講義内容を再検討しておくこと（60分）【復習】不全組織の改善策について整理すること（60分） | 演習 グループワーク |
| 15) 演習7 実際に起こったセクシュアルハラスメント事件の検証／総括 ハラスメントに対する心理学的視座・対応の確立【予習】毅然としたハラスメント対応を整理（45分）【復習】被害者心理とフォローの確認（60分） | 演習 グループワーク |
| 授業外学習 | |
| 受講生は指定したテーマに沿って講義レジュメ・文献等をまとめ、発表することとする。発表は他の受講生に分かりやすくなるよう工夫すること。プレゼンテーションも評価の対象とする。 | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| 【参考書】 適宜プリントを配付する。 | 社会・集団・家族心理学 感情・人格心理学 健康・医療心理学 |

課題に対するフィードバック

産業組織において惹起することのある（ハラスメントを含む）人間関係等に基づいた「事例問題」を出すので、組織としてどのような解決方法を策定していくかレポートとしてまとめさせることにしており、添削して解説する形でフィードバックする。

備考

| | | | | |
|------|-------------|--------|----|-----|
| 科目名 | チーム医療論 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 講義 | 選択 | 2 | 4年 | 後期 |
| 担当者名 | 小山 典子、原田 雅史 | 関連する資格 | | |

授業概要

チーム医療とは、一人の患者に複数のメディカルスタッフ（医療専門職）が連携して、治療やケアに当たることである。病院では、様々な職種のメディカルスタッフが働いており、こうした異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することで、入院中や外来通院中の患者の生活の質（QOL）の維持・向上、患者の人生観を尊重した療養の実現をサポートする。患者本人とご家族もチームのメンバーであるとされるチーム医療について理解を深める。

【実務経験】

担当教員は公認心理師、及び臨床心理士の資格を有し、病院臨床の経験をもつ。

到達目標

(A4702)

- 1) チーム医療とは何か説明できる。
- 2) 各メディカルスタッフの役割を説明できる。
- 3) 医療における連携・協働について、その効果と課題を説明できる。

成績評価方法

授業外レポート
授業参加度
ディスカッション/グループワーク

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | 60 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | | | 20 |
| プレゼンテーション | | | | | | | |
| グループワーク | | | | | | | 20 |
| 演習 | | | | | | | |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|---|---|
| 1) 原田雅史（1～10回）チームのメディカルスタッフの役割と協働 医師・看護師・ソーシャルワーカー・作業療法士・心理士・薬剤師・他【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | |
| 2) チーム医療の実際1 精神疾患 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 3) チーム医療の実際2 発達障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 4) チーム医療の実際3 児童・思春期 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 5) チーム医療の実際4 オープンダイアログ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 6) チーム医療の実際5 周産期医療 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 7) チーム医療の実際6 がん医療 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 8) チーム医療の実際7 緩和ケア 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 9) チーム医療の実際8 高齢者・認知症 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | グループワーク |
| 10) チーム医療の実際9 地域医療 / 在宅ケア / 災害支援 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション 1～10についての授業外レポート |
| 11) 小山典子（11～15回）チーム医療とは何か チーム医療の起源・医療従事者の捉えるチーム医療 【復習】授業内容について復習する（60分） | |
| 12) チーム医療における患者医療者関係 チームの中での医療者・患者・家族の役割【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 13) チーム医療の倫理 チームとインフォームドコンセント【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 14) チーム医療におけるコミュニケーション【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分） | ディスカッション |
| 15) チーム医療の教育と展望 【復習】授業内容について復習する（60分） | |
| 授業外学習 | |
| 興味・関心を持ったこと疑問に思ったことについて，自主的に調べる。 | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| テキスト：必要に応じて資料を配布する。参考文献は授業内で紹介する。 | 人体の構造と機能及び疾病 脳科学 健康・医療心理学 神経・生理心理学 臨床心理学概論 障害者・障害児心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 発達障害児支援論 心理演習 ・ 心理実習 ・ |

課題に対するフィードバック

ディスカッションやグループワークの際、適宜フィードバックを行う。

備考

| | | | | |
|------|-------------------------|--------|-----------|-----|
| 科目名 | 心理実習 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 実習 | 選択 | 2 | 4年 | 前期 |
| 担当者名 | 小山 典子、榎本 俊哉、木元 卓也、馬場 弓歌 | 関連する資格 | 公認心理師受験資格 | |

授業概要

心理実習 に引き続き、本実習は、公認心理師として従事するために不可欠な、臨床心理に関する実践的な内容を学んでいく。特に心理臨床の主要領域である、医療・福祉・教育・司法 / 矯正領域の複数の現場で実習を行うことで、それぞれの領域における心理職の実際や連携についての理解を深め、自己の適性についても理解を深めることを目的とする。なお、この実習は公認心理師コースの学生の必修科目であるが、ビジネス心理コースの学生は履修できないこととする。

実務経験

全員が公認心理師、及び臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、スクールカウンセラーや産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

(A4703a)
公認心理師法により定められている、次の3項目を中心に修得する。
1) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて。
2) 多職種連携及び地域連携について。
3) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について。
また、各自個別的な実習課題を設定し、心理臨床における機能や役割についてより深く学修する。

成績評価方法

実習指導者の実習評価票および担当教員による評価の総合で行う。

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 30 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | | | |
| プレゼンテーション | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 10 |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | |
| 実習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 60 |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習） | アクティブラーニング |
|---|--|
| <p> 本学と実習契約をしている各実習機関（施設）への配属実習により、心理業務の実際について学修する。 実習は3領域以上の機関で実施する。 全実習期間及び時間は、10日間、80時間とする。なお、実習機関の各領域は以下のとおり。 医療保健分野 4日間（32時間） 福祉分野 4日間（32時間） 教育分野 2日間（16時間） 司法・犯罪分野 2日間（16時間）見学実習とする。 の医療保健分野、及び の福祉分野の実習は必修とし、 の教育分野、及び の司法・犯罪分野における実習はいずれかを選択するものとする。 「心理実習」においては、実習に入る前に各実習機関（施設）の現状について事前調査による学習を行ったうえで実習に望む姿勢を培うとともに、医療機関における学外実習を実施する。 </p> <p> 1. 公認心理師法により定められている、実習において学修すべき次の3項目について講義する。 1) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて。 2) 多職種連携及び地域連携について。 3) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について。 2. 各自個別的な実習課題を設定し、実習機関（施設）においてどのようなことを目的に実習に臨むか、自己課題についてレポートする。 3. 次に、本学と実習契約をしている各実習機関（施設）への配属実習により、心理業務の実際について学修する。配属先は、実習担当教員と協議したうえでそれぞれの領域の内で適切な機関（施設）を選定する。実習は3領域以上の機関（施設）で実施する。 4. 実習中は、毎日「実習記録」を記載する。また、「実習記録」に基づいて実習指導者よりスーパーヴァイズを受ける。 5. また、実習中は週1回以上、実習担当教員が各実習機関（施設）を訪問し、実習指導職員とともにスーパーヴィジョンを実施する。 6. 実習終了後は、実習における実践記録をケースレポート、あるいは研究レポートとしてまとめて提出する。ケースレポート、研究レポート等により実習担当教員による個別指導を実施する。その後、提出されたケースレポート、あるいは研究レポートは「実習・研究報告会」においてさらに検討を加えるものとし、実習の反省と総括を行う。 </p> <p> 【予習】 医療機関、福祉施設等、実習先の治療、援助支援等、各機能について充分学習しておくこと。（90分以上） 【復習】 実習を振り返り自己吟味を深めるとともに、得た指導から心理臨床の実践における対応技能について理解の幅を広げること。（90分以上） </p> | <p>実習</p> |
| 授業外学習 | |
| <p> 実習先について、予め情報収集を行い、実際に現地に向かい場所を確認しておくこと。また、学びたい内容および各自の課題をレポートする。 </p> | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| <p> テキスト：適宜プリントを配布する。また、実習記録票、実習への心構え・要領などを配布する。 参考書 ・河合隼雄（2003）．臨床心理学ノート 金剛出版 ・馬場禮子 編（2003）．臨床心理学概説 放送大学教育振興会 </p> | <p> 心理実習 心理演習 ・ </p> |

課題に対するフィードバック

面談・個別においてフィードバックする。

備考

| | | | | |
|------|-------------|--------|----|-----|
| 科目名 | ビジネス心理コース演習 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 演習 | 選択 | 1 | 4年 | 前期 |
| 担当者名 | 三島 瑞穂、小野 洋平 | 関連する資格 | | |

授業概要

ビジネス心理コース担当教員の研究にふれることにより、専門性を高める。履修生ごとに主体的にテーマを決定し、これまでに培った心理学的知見を活かして課題解決に取り組む。

到達目標

A4501

- ・ビジネス心理コース演習 ~ での学びをもとに、ビジネス領域で活用されている心理学理論について、さらに興味関心を拡大させることができる。
- ・興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- ・それをもとにして分かりやすいレジュメを作成することができる。
- ・ゼミ内でレジュメを使って発表することができる。
- ・ゼミ内で担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等をもとに、各ゼミ担当が総合的に評価する。

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | 20 |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | 20 |
| 授業態度・授業参加度 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 20 |
| プレゼンテーション | | | | | | | 20 |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | 20 |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|---|--------------------------|
| 1) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 2) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 3) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 4) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 5) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 6) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 7) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 8) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 9) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 10) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 11) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 12) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 13) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 14) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 15) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 授業外学習 | |
| 出された課題や次回授業に関するキーワードなど調べておく。 ゼミで説明のあった専門語彙など自らも調べ理解しておく。 | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| 各ゼミ担当より提示される。 | ビジネス心理コース演習 心理学関連科目全て |

課題に対するフィードバック

各ゼミ担当より行われる。

備考

ゼミナールの授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をする。

| | | | | |
|------|-------------|-----|--------|-----|
| 科目名 | ビジネス心理コース演習 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 演習 | 選択 | 1 | 4年 | 後期 |
| 担当者名 | 三島 瑞穂、小野 洋平 | | 関連する資格 | |

授業概要

演習 に引き続き、ビジネス心理コース担当教員の研究にふれることにより、専門性を高める。履修生ごとに主体的にテーマを決定し、これまでに培った心理学的知見を活かして課題解決に取り組む。

到達目標

A4502

- ・ビジネス心理コース演習 ~ での学びをもとに、ビジネス領域で活用されている心理学理論について、さらに興味関心を拡大させることができる。
- ・興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- ・それをもとにして分かりやすいレジュメを作成することができる。
- ・ゼミ内でレジュメを使って発表することができる。
- ・ゼミ内で担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等をもとに、各ゼミ担当が総合的に評価する。

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合 (%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | 20 |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | 20 |
| 授業態度・授業参加度 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 20 |
| プレゼンテーション | | | | | | | 20 |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | 20 |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|---|--------------------------|
| 1) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 2) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 3) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 4) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 5) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 6) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 7) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 8) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 9) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 10) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 11) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 12) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 13) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 14) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 15) 各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分） | 課題の発表 ディスカッション |
| 授業外学習 | |
| 出された課題や次回授業に関するキーワードなど調べておく。 ゼミで説明のあった専門語彙など自らも調べ理解しておく。 | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| 各ゼミ担当より提示される。 | ビジネス心理コース演習 心理学関連科目全て |

課題に対するフィードバック

各ゼミ担当より行われる。

備考

ゼミナールの授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をする。

| | | | | |
|------|---------------------------------|--------|----|-----|
| 科目名 | 公認心理師コース演習 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 演習 | 選択 | 1 | 4年 | 前期 |
| 担当者名 | 小山 典子、高田 晃、榎本 俊哉、 木元 卓也、脇 貴典 | 関連する資格 | | |

授業概要

公認心理師コース担当教員の研究にふれることにより，専門性を高める。履修生ごとに主体的にテーマを決定し，これまでに培った心理学的知見を活かして課題解決に取り組む。

到達目標

(A4503)
報告・発表、議論の能力を高める。
主題に関する専門性を高める。
公認心理師コース演習 ~ での学びをもとに，さらに興味関心のあるテーマを追求し，研究発表やディスカッションへのレディネスを形成する。

成績評価方法

演習に対する取り組みの姿勢、および提出課題等より総合的に評価する。

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | 評価割合 (%) |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 25 |
| 授業態度・授業参加度 | | | ○ | | ○ | | 25 |
| プレゼンテーション | | | | | | | |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 50 |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | | アクティブラーニング |
|---------------------|---|------------------------------------|
| 1) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 2) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 3) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 4) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 5) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 6) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 7) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 8) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 9) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 10) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 11) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 12) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 13) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 14) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 15) | 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | 卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 授業外学習 | | |
| 教員ごとに課題提示 | | |
| テキスト、参考書、教材 | | 関連する科目 |
| 担当教員ごとに指示する。 | | 選択する担当教員の掲げる主題によって異なる。 |

課題に対するフィードバック

各教員が行う。

備考

| | | | | |
|------|---------------------------------|--------|----|-----|
| 科目名 | 公認心理師コース演習 | | | |
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 |
| 演習 | 選択 | 1 | 4年 | 後期 |
| 担当者名 | 小山 典子、高田 晃、榎本 俊哉、 木元 卓也、脇 貴典 | 関連する資格 | | |

授業概要

演習 に引き続き、公認心理師コース担当教員の研究にふれることにより、専門性を高める。履修生ごとに主体的にテーマを決定し、これまでに培った心理学的知見を活かして課題解決に取り組む。

到達目標

(A4504)
報告・発表、議論の能力を高める。
主題に関する専門性を高める。
公認心理師コース演習 ～ での学びをもとに、興味関心のあるテーマについて自己の考えをまとめディスカッションし、研究発表することができる。

成績評価方法

演習に対する取り組みの姿勢、および提出課題等より総合的に評価する。

| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | 評価割合 (%) |
|--------------|------|------|------|------|----|-----|----------|
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 25 |
| 授業態度・授業参加度 | | | ○ | | ○ | | 25 |
| プレゼンテーション | | | | | | | |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 50 |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | | アクティブラーニング |
|---|------------------------|---------------------------------------|
| 1) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究計画書作成・確認 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 2) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 3) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 4) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 5) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 6) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 7) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 8) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 9) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 10) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 11) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 12) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 ディスカッション |
| 13) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 プレゼンテーション ディスカッション |
| 14) 各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習各60分） | | 卒業研究論文の作成 プレゼンテーション ディスカッション |
| 15) 各教員の計画によりすすめられる 卒業研究報告会参加 | | 卒業研究論文完成 ディスカッション |
| 授業外学習 | | |
| 教員ごとに課題提示 | | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 | |
| 担当教員ごとに指示する。 | 選択する担当教員の掲げる主題によって異なる。 | |

課題に対するフィードバック

各教員が行う。

備考

| 科目名 | 卒業研究 | | | | | | |
|---|------------------------------------|------|---|----------------------|----|-----|---------|
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 | | | |
| 演習 | 選択 | 4 | 4年 | 通年(前期) | | | |
| 担当者名 | 榎本 俊哉、小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典、小山 典子、木元 卓也 | | 関連する資格 | 認定心理士 認定心理士(心理調査) | | | |
| 授業概要 大学4年間の総まとめとして、履修生が研究テーマを主体的に決定して卒業研究に取り組む。担当教員のもとで資料収集、調査研究を進め、さらにディスカッションをしながら、研究を深め卒業論文としてまとめ、研究成果を発表する。 | | | | | | | |
| 到達目標 (A4602b) ・主体的に研究テーマを決定し、実行可能な研究計画書を作成できる。 ・研究目的に沿った資料収集ができる。 ・研究計画、研究の進捗状況、途中経過等をレジюмеにまとめゼミ内で発表することができる。 ・自らの発表や他のゼミ生の発表を基にディスカッションができる。 ・他のゼミ生の研究に対しても相手を配慮した建設的な意見が言える。 ・担当教員をはじめゼミ生からの意見を自分の研究に役立てることができる。 ・最終的に自分の納得のいく論文が作成できる。 | | | 成績評価方法 論文作成に取り組む姿勢、作成した論文の内容と報告会での研究報告を基に総合的に評価する。論文の提出と、報告会での研究報告は必須とする。 | | | | |
| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合(%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | 30 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | | | |
| プレゼンテーション | | | | | | | 30 |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | 40 |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|---|------------------|
| 1) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 2) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 3) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 4) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 5) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 6) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 7) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 8) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 9) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 10) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 11) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 12) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 13) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 14) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 15) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 授業外学習 | |
| <p>研究の進捗状況について、適宜、担当教員に報告することを必須とする。 なお、アンケート調査や実験等の実施前に、必ず研究計画書を担当教員に提出し、実施の許可を得てから調査・実験等を実施すること。</p> | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| 特に定めない。 研究の内容に沿った文献を精読すること。 | 心理学に関連する科目全般 |

課題に対するフィードバック

履修生からの卒業研究の進捗状況の報告に基づき、担当教員が個別にコメントする。

備考

| 科目名 | 卒業研究 | | | | | | |
|---|------------------------------------|------|---|----------------------|----|-----|---------|
| 授業形態 | 履修形態 | 単位数 | 年次 | 開講期 | | | |
| 演習 | 選択 | 4 | 4年 | 通年(後期) | | | |
| 担当者名 | 榎本 俊哉、小野 洋平、三島 瑞穂、脇 貴典、小山 典子、木元 卓也 | | 関連する資格 | 認定心理士 認定心理士(心理調査) | | | |
| 授業概要 大学4年間の総まとめとして、履修生が研究テーマを主体的に決定して卒業研究に取り組む。担当教員のもとで資料収集、調査研究を進め、さらにディスカッションをしながら、研究を深め卒業論文としてまとめ、研究成果を発表する。 | | | | | | | |
| 到達目標 (A4602b) ・主体的に研究テーマを決定し、実行可能な研究計画書を作成できる。 ・研究目的に沿った資料収集ができる。 ・研究計画、研究の進捗状況、途中経過等をレジюмеにまとめゼミ内で発表することができる。 ・自らの発表や他のゼミ生の発表を基にディスカッションができる。 ・他のゼミ生の研究に対しても相手を配慮した建設的な意見が言える。 ・担当教員をはじめゼミ生からの意見を自分の研究に役立てることができる。 ・最終的に自分の納得のいく論文が作成できる。 | | | 成績評価方法 論文作成に取り組む姿勢、作成した論文の内容と報告会での研究報告を基に総合的に評価する。論文の提出と、報告会での研究報告は必須とする。 | | | | |
| 評価項目 | 評価基準 | | | | | | |
| | 知識理解 | 思考判断 | 関心意欲 | 技能表現 | 態度 | その他 | 評価割合(%) |
| 定期試験(中間・期末) | | | | | | | |
| 小テスト、授業内レポート | | | | | | | |
| 宿題、授業外レポート | | | | | | | 30 |
| 授業態度・授業参加度 | | | | | | | |
| プレゼンテーション | | | | | | | 30 |
| グループワーク | | | | | | | |
| 演習 | | | | | | | 40 |
| 実習 | | | | | | | |

| 授業計画と概要、予習・復習内容（時間） | アクティブラーニング |
|---|------------------|
| 1) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 2) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 3) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 4) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 5) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 6) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 7) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 8) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 9) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 10) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 11) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 12) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 13) 各教員の計画によりすすめられる 各教員から提示された課題を次回授業までに行う（予習復習を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 14) 各教員の計画によりすすめられる 卒業研究報告会の準備を行う（報告会の準備を含めて最低90分） | ゼミ内での発表、ディスカッション |
| 15) 卒業研究報告会で研究成果報告を行う 他の学生の報告を聞く | プレゼンテーション |
| 授業外学習 | |
| <p>研究の進捗状況について、適宜、担当教員に報告することを必須とする。 なお、アンケート調査や実験等の実施前に、必ず研究計画書を担当教員に提出し、実施の許可を得てから調査・実験等を実施すること。</p> | |
| テキスト、参考書、教材 | 関連する科目 |
| 特に定めない。 研究の内容に沿った文献を精読すること。 | 心理学に関連する科目全般 |

課題に対するフィードバック

履修生からの卒業研究の進捗状況の報告に基づき、担当教員が個別にコメントする。

備考